# FX ツール研究所 東大式 FX スワップアービトラージ TusarFX 暫定マニュアル

Ver.002

FX ツール研究所

## 目次

■キャビネットアカウントの取得	5
TusarFX へのアクセス	5
キャビネットアカウント登録メニュー	6
キャビネットアカウント登録情報の入力	7
キャビネットアカウント入力項目の説明	8
登録受付とキャビネット認証の実行	9
キャビネット登録受付の確認メール	9
キャビネット有効化の手続き	11
キャビネット有効化がうまくいかないとき	12
■FXClearing から移行した口座の登録	14
キャビネットへのログオン	14
移行した口座の登録	15
移行口座の登録確認	17
■登録認証の手続き	18
個人認証ファイルの作成	18
住所認証ファイルの作成	20
登録認証用ファイルのアップロード	21
認証ファイルアップロードの手順	22
認証ファイルの審査結果確認	23
認証ファイルの再アップロード	24
■サポートについて	24

快適な FX ライフを追求する FX ツール研究所

### はじめに

当マニュアルをご覧頂きありがとうございます。

このマニュアルをお読み頂くと
TusarFX の口座開設及キャビネットを利用する手順が
お分かりになります。

当マニュアルは必要に応じてバージョンアップします。 記述内容の誤りを見つけた場合は、 info@investtoollab.com までご一報ください。

快適な FX ライフを追求する FX ツール研究所

本マニアルは、FXClearingからTusarFXに口座を移転したみなさまに当座の取引を継続していただくため、必要最小限の事項について説明しています。

TusarFX に口座を移行したみなさまはすでに TusarFX が提供する MT 4 をインストール済かと思いますが、資金の移動などの手続きのため TusarFX キャビネットアカウントを取得する必要があります。

今回は、「キャビネットアカウントの取得と必須操作」について説明します。

なお、本マニアルは合併アナウンスから移行日までが短期間であったため暫定版 として提供いたします。正規版は完成しだい配布いたします。

#### ■キャビネットアカウントの取得

#### TusarFX へのアクセス

キャビネットアカウントを取得するため、TusarFX にアクセスします。 ここをクリックしてください。

図1:TusarFX ホームページ



TusarFX ホームページです。

ウインドウ右上の旗のマークをクリックし、日本を選んでください。ただし、日本語化はまだほんの一部です。

キャビネットのアカウントを作るので<mark>「Trader's Cabinet」(</mark>画面中央右側 図下の矢印の先)をクリックします。すると次のキャビネットログオン画面が現れます。

<u>ここをクリックして直接キャビネットログオンウインドウ</u>を開くこともできます。

#### キャビネットアカウント登録メニュー

図2:キャビネットログオン画面の中にある登録用リンク



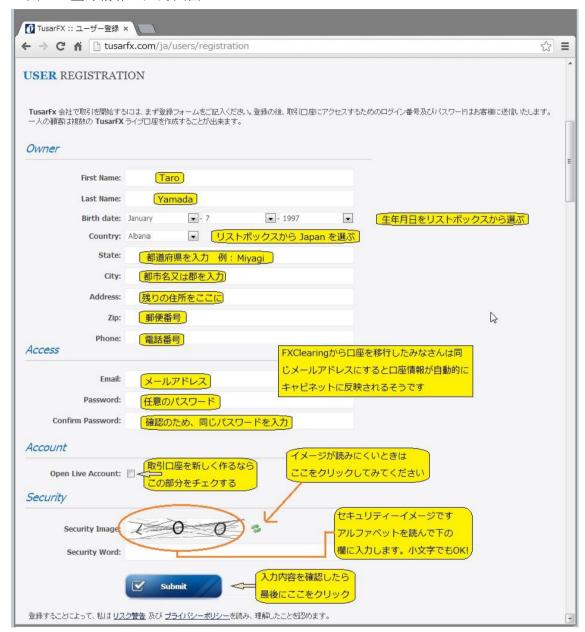
上のように「Trader's Cabinet ログオン画面」が開きその中に登録画面へのリンクが「Submit」ボタンの上(左向き矢印部分)に「Registration」があるのでこれをクリックします。

すると 「USER REGISTRATION」 画面が開きます。

注:ここをクリックしても同じ画面を開くことができます。

#### キャビネットアカウント登録情報の入力

#### 図3:登録情報の入力画面



上の図を参考に各項目を入力してください。すべてローマ字(半角英数字)で入力します。次のページにある各項目の説明も参考にしてください。

#### キャビネットアカウント入力項目の説明

First Name:XXXX 名前 Last Name:XXXXX 苗字

Birth date:年月日をリストボックスから選びます。Country:リストボックスから Japan を選ぶ

State: 都道府県名

City: 市 例えば Tokyo Kyoto Sendai

Address: 町村名、番地など。順番が逆になります。

Zip: 郵便番号をハイフン無しで7桁

Phone:電話番号または携帯番号Email:PC 用アドレスメール

(FXClearing の Cabinet に登録していたもの

と同じにしてください。

携帯でも不可能ではありませんが、情報量の 関係で無理。スペルミスをしないように!)

Password: TusarFX にログインするときのパスワード

(自分で考えたものでできれば11文字以上)

Confirm Password: 上と同じパスワードを入力。

確認のため。(必ずメモをとってください)

Open Live Account: FXClearing から移行したみなさんはすでに

口座がありますのでチェックしないで結構です。

Security Image: 図のイメージは LOO です。

(読みにくい場合は右の小さな緑色のボタンを

クリックして更新できます)

Security Word: ここに イメージの LOO と入力します。

(小文字でも構いません:以下同じ)

以上の入力が終わったら、「Submit」ボタンをクリックします。

#### 登録受付とキャビネット認証の実行

入力内容に問題がなければ次の登録完了の画面が現れます。

図4:フォームが正しく送られ、登録が成功した場合



問題があると、赤い字で入力し直しを求めてきますが、全部英語なのでうまくいかないときは FX ツール研究所 info@investtoollab.com までお問い合わせください。

上の画面が表示されると登録したメールアドレスに次のようなメールが届きます。 メールは全部英語なので訳文をつけておきます。

#### キャビネット登録受付の確認メール

Dear I\*\*\*\*\*\*\*\*a.

>※※※様

Congratulations!

You've just created your own Trader's Cabinet TusarFX.

>おめでとうございます。

>あなた専用の TusarFX トレーダーキャビネットが作成されました。

Firstly, please, follow the link to confirm your registration agreement:

http://tusarfx.com/confirm/gNion8cZ4zppOOE9TRFI0OPDkcQ\_fOmn

まず、登録の確認のため次のリンクをクリックしてください。

(注:リンクは http で始まる青い文字の部分です)

快適な FX ライフを追求するFX ツール研究所

Please find your login information below:

>キャビネットへのログイン情報は以下のとおりです。

Your login: \*\*\*\*\*\*@nifty.com

Your password: \*\*\*\*\*

>貴方のログイン ID: ログイン ID

>貴方のログインパスワード:パスワード

Directly in your Trader's Cabinet you can open your first TusarFX trading account .

In order to deposit funds, please, read the depositing instructions in your Cabinet first http://tusarfx.com/users/login.

How to withdraw funds you can also find out following the former link.

>貴方のトレーダーキャビネット内で最初のTusarFX取引口座を開くことができます。

>証拠金入金の方法はキャビネット内の証拠金預入操作説明を読んでください。 >証拠金出金についても、前述のキャビネット内で確認できます。

In emergency situations you may contact us via Skype chat: tusarfx.com, providing your trading account number along with the nature of a problem.

>緊急の場合にはスカイプチャットで「貴方の取引口座番号」と「問題内容」を「tusarfx.com」までお伝えください。

(注:スカイプチャットの実行方法は別途説明いたします)

We wish you good luck in trading!

If you need our assistance, please, don't hesitate to contact us!

>それではどうぞよろしく。

>なお、疑問などがある場合はご遠慮なくご相談ください。

キャビネットを有効化する手続き

アカウント情報が記載されたメールは必ず印刷して保管しましょう。

#### キャビネット有効化の手続き

上のメールを受け取ったらメール内に記載されているリンクをすぐクリックしてください。この手続きは、メールアドレスなどが正しいか確認する意味がありますので後回しにはしないでください。下の画面が開けばキャビネットアカウントの登録はとりあえず完了です。

図5:キャビネットが有効化され登録完了のお知らせ画面



図の Login ボタンをクリックするとそのままキャビネットにログインすることも可能ですが、ここではうまく登録できなかった場合の説明に進みます。

#### キャビネット有効化がうまくいかないとき

キャビネットを有効化するためのメールが届かないとか、メールが届いても有効化するためのリンクがないといった事例があります。そんな場合は前述の登録完了を知らせてくれる同じメールを再送させることができます。以下の手順を実行しください。

まず、キャビネットにログオンするため、TusarFX ホームページを開きます。 ここをクリックしてログオンページを開くことができます。

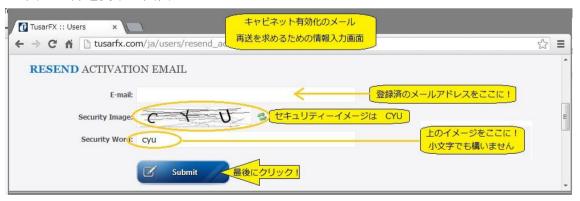
キャビネットログオンページの中に下の図の Resend activation Email リンクをクリックしてください。

図6:メール再送要求のリンク(キャビネットログオンウインドウにあり)



次のメール送付先などの情報を入力する画面が開きます。

図7:再送要求の画面



キャビネットアカウントを取得する際に登録したメールアドレスを E-mail 欄に入力し、セキュリティーイメージを読んで、Security Word 欄に図のように入力したら「Submit」ボタンをクリックします。

すると、今入力したメールアドレスが正しく、登録したメールアドレスと同じなら、 キャビネットを有効化するためのメールが送られてきます。

タイトルは英語で、Account/Cabinet Activation Link となっています。

内容も最初に送られてくるものとは違いますが、リンクはまったく同じで http://で始まる青い文字で、最後のほうは暗号のようになっている長い行がそれです。そこをクリックしてください。

何も起こらなかったら、、、、FX ツール研究所 <u>info@investtoollab.com</u>までお問い合わせください。

じつは、この画面から送るメールアドレスは架空のものでもそのまま受け付けます。 ということは、キャビネットアカウントの登録の際にメールアドレスを間違ってしまった場合、キャビネットを有効化するメールは届かないということになります。

最悪、アカウントを取り直すことになるかもしれません。

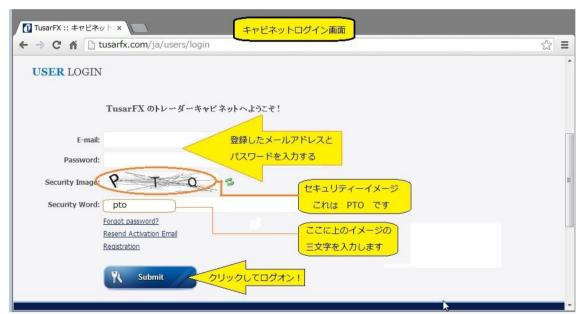
#### ■FXClearing から移行した口座の登録

FXClearing から移行した口座をキャビネットに登録します。 (別に後でもいいのですが、大事な資金がそのままなのでここでやっておきましょう)

#### キャビネットへのログオン

TusarFX のホームページを開き、ホーム画面右にあるメニューの中から「Trader's Cabinet」をクリックします。<u>ここからもログオンページを開くことがで</u>きます。

図8:キャビネットログオン画面



上のログオン画面が開きますので図を参考に登録済メールアドレスとパスワードを入力します。

入力項目は次のとおりです。

E-mail: あなたの登録したメールアドレス

Password: 登録したパスワード

SecurityWord: 上の欄にある Security Image のアルファベット

「Submit」ボタンをクリックするとキャビネットログオン初期画面が開きます。

#### 移行した口座の登録

#### 図 9: Link Trading Account メニュー



ログイン後の初期画面左側にはメニューが並んでいます。図にある Link Trading Account メニューをクリックします。

なお、その上にある My Accounts メニューは移行口座のリンク結果を見るために あとで使います。

#### 図10:移行した口座の登録画面



図を参考に FXClearing から移行した口座番号、パスワードを入力して Submit ボタンをクリックします。口座番号やパスワードが間違っていると赤い文字で警告されますので、修正してください。

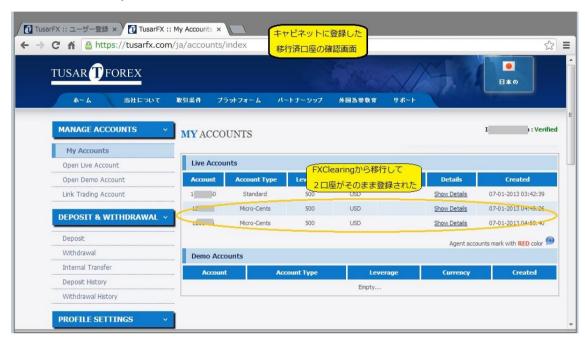
Submit ボタンをクリックして Success と表示されればキャビネットに口座が登録 されているはずです。

その際に New PIN: 9999(数字4文字) が表示されますので、必ず保存しておいてください。 PIN は出金や資金移動のために必要になります。

#### 移行口座の登録確認

すべて登録したら<u>前述した My Accounts メニュー</u>をクリックして登録状態を確認してください。

図11:私の My Accounts を開いた画面



My Account を開くとライブ口座とデモ口座の一覧を見ることができます。図の場合は私の口座で、移行した2口座と、新規に作った口座、計3口座がそれです。デモロ座はありません。

#### ■登録認証の手続き

登録認証とは、個人とその居住地を特定するための手続きで、この書類の審査が終わらないと資金の引出しができません。キャビネットアカウントが有効になったら、まずそれらの書類を準備します。

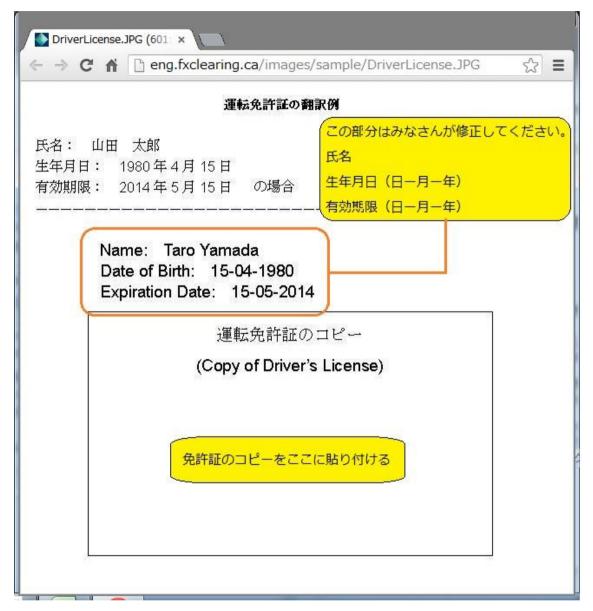
#### 個人認証ファイルの作成

個人を特定するため、写真入りの証明書類を作ります。認証の画面では Proof of ID と読んでいます。以下はその Proof of ID 用書類の作成例です。

一番簡単なのは、パスポートをコピーする方法です。英文の翻訳はすでについて いますから、そのまま利用できます。おすすめ!

パスポートが無い場合は、免許証を使ってください。作り方は次の図を参考にしてください。ワープロで図のような台紙を作り、免許証のコピーを貼り付け、これを撮影またはスキャンしてパソコンに取り込みます。ファイル名はあとの説明で使うのでshashin としておきましょう。

図12:個人認証ファイルの台紙



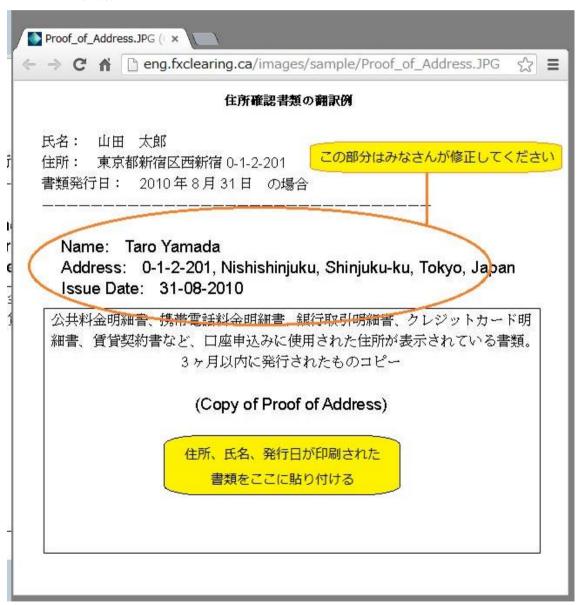
名前、生年月日、発行日または失効日は必須なので必ず書き込んでください。

#### 住所認証ファイルの作成

次は居住地を確認するための書類を作ります。認証の画面では Proof of address と呼んでいます。

住所の特定には公共料金の請求書などを利用してください。作り方は前述と基本的には同じなので次の図を参考にしてください。ファイル名は juusho としておきます。

図13:住所認証用ファイルの台紙

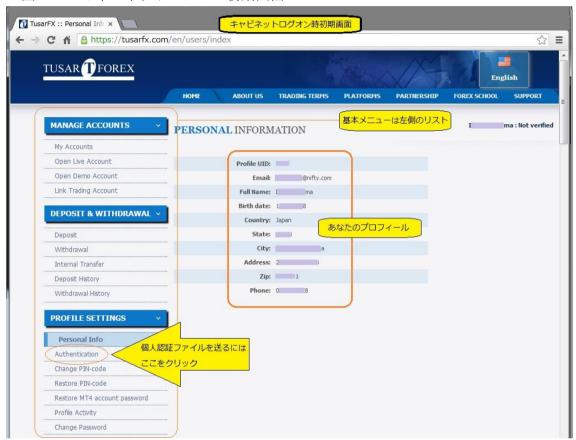


書類の種類、住所、氏名、発行日が記載されて明瞭なものを使ってください。

#### 登録認証用ファイルのアップロード

前述のファイル二つを用意したらキャビネットにログオンします。ログオンの手順はすでに紹介したのでここでは省略します。分からない方はここをクリック!

図14:キャビネットログオン初期画面



図矢印の部分にある 「Authentication」メニューをクリックして次の登録認証 画面を開きます。

#### 認証ファイルアップロードの手順

図15:認証ファイル登録画面



まず、Document Type: の入力ボックスを Proof of ID にしたまま、その下の「ファイルを選択」ボタンをクリックし、手順1で作ったファイル shashin を選びます。

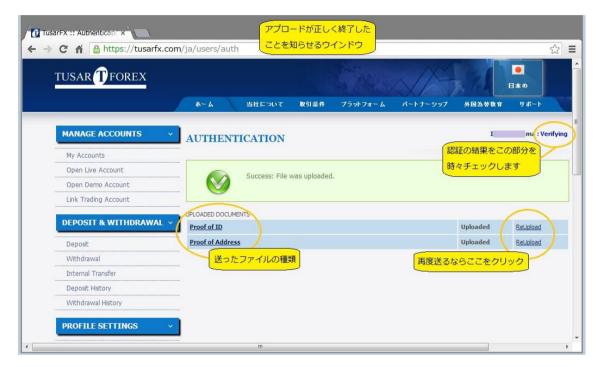
すると、ボタンの右側にそのファイル名が表示されるので、その下にある「Submit」 ボタンをクリックします。

アップロードが成功すると、上の図と同じ画面に戻りますが、Document Type: 入力ボックスの中が Proof of address に変わっているはずなので、同様に前述で用意したファイル juusho を選択して「Submit」ボタンをクリックしてください。

#### 認証ファイルの審査結果確認

二つのファイルが正常にアップロード(送付)されると次の、認証用ファイルを 受け付けたことを知らせる画面が開きます。

図16:認証ファイルを受け付けたことを知らせる画面



注:この認証は人手による審査手続きなので時間がかかります。時々 キャビネットの Authentication メニュー(ウインドウ左側のリストの中)をクリックして結果を確認してください。また、上の図であれば右上の認証結果表示されます。最終的には Verified となります。

#### 認証ファイルの再アップロード

審査の結果、認証できないと判断されると 前述の認証結果を示す部分と Authentication メニューで見ることができるウインドウに Rejected と赤い字で表示されます。その場合はなにか抜けているはずですので再度確認してアップロードをしなおしてください。

再アップロードは上の図にある reupload をクリックして行うことができます。 うまくいかないときは FX ツール研究所 info@investtoollab.com までお問い合わせください。

#### ■サポートについて

TusarFX は日本人向けのサポートがまだ十分ではないです。ウエッブページの言語選択を日本語にしても、変化する部分はお世辞程度です。サポートの質問も日本語ではダメなようです。

今回の合併と口座移行は急であったこともあり、今回説明した部分以外にもさまざ まな疑問、質問がおありかと思います。

そのおりには、FX ツール研究所 info@investtoollab.com までお問い合わせください。